

平成21年度 戸塚区バドミントン協会 審判部総会

拝啓

早春の候、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

会員の皆様には、県・区の活動に御協力頂き、有意義な一年過ごす事が

出来たと感謝しています。今後とも、皆様の御協力を期待しております。

さて、下記日程にて戸塚区バドミントン協会 審判部の総会を開催致します。

多くの方に参加いただき充実した総会に成るように期待しております。

敬具

— 記 —

日時 平成22年4月18日（日曜日）12時15分～14時00分
（12時00分 受付開始）

場所 地域会議室3階・中会議室A
（戸塚スポーツセンター隣、県税事務所内）

議案

1. 平成21年度 審判部活動報告
2. 審判講習会について
3. 日バ登録料について
4. その他 平成22年度審判員年間予定表(案)について
今後の活動方針等
5. 終了後、希望者による講習会（ルール質問、ケーススタディ勉強会）

当日の参加・欠席を同封のハガキにて4月5日(月)までに届くようお願い致します。又、ご欠席の方は同封ハガキに代理人を指定して委任してください。

ご出席の方は、添付資料を持参するようにお願い致します。

当日は、同所にて戸塚区バドミントン協会の総会も予定しています。

両方に参加される方も居ると思いますが、ご協力のほど宜しくお願い致します。

【ご確認依頼】

今年度はほとんどの方が、平成22(2010)年3月31日で審判資格が切れます。

審判手帳の氏名のところにある「貴殿を18年度から21年度までの～の公認審判員であることを証明する」の方が対象ですので、ご確認をお願い致します。

尚、協会にて一括で審判資格更新を希望される方は、審判部総会当日に

1. 更新料5,750円(3年分)
2. 更新申請書(必ず自分の氏名の部分に押印要)
3. 審判員手帳のコピー を持参願います。

戸塚区バドミントン協会 審判部 山本 雅己

TEL 080-6500-2650

cyacyamaru2000@ez.web.jp (携帯メール)

cyacyamaru2000@c3-net.ne.jp (PCメール)

平成21年度 戸塚区バドミントン協会 審判部総会 議案

平成22年4月18日 審判部

一号議案・・・審判部活動報告（審判部活動メモ参照）

現在、36名の審判部員がおり、主に3つの活動を中心に行っている。

1. 区民大会(5大会)に審判員の派遣。
 - 1) ジャッジペーパーのチェック・指導及び、一部の主審、線審を行った。
 - 2) 各大会の開会式で、線審のコール、ジャッジのPR及び、団体戦の試合前のコールをPRした。
2. 審判技術向上の啓発活動(審判講習会の実施)
審判技術向上(スコアシートの記入やコールの仕方)を中心に講習会を開催した。
3. 県協会主催の7大会(14日)に、戸塚区から毎回1～4人が派遣審判として参加。

二号議案・・・審判講習会について

1. 9月4日にスコアシートの記入やコールの仕方及び、実技の講習会を開催した。
講習会及び、審判部員に対するルール及び、主審及び、線審の技術向上について意見・提案が有れば、お願いします。
2. 新議案2-1・・・昨年と同様に10月23日に審判講習会(戸塚SC)を実施します。
 - 1) ルール、スコアシート記入、コールの仕方についての講義(2時間)
 - 2) 実技及び、ケーススタディ (2時間)新議案2-2・・・希望クラブが有れば、クラブに出向き審判講習会を実施する。
* 審判講習会に審判部員のご協力をお願い致します。

三号議案・・・日バ登録料について

1. 県・区の活動に協力した人を対象に、日バ登録料(¥1,200)を戸塚区バドミントン協会に支払う。
⇒昨年は全員に支払いました。
2. 新議案3-1・・・前回と同等とする。

四号議案・・・その他の議案

1. 新議案4-1・・・平成22年度審判員年間予定表(案)について(年間予定表参照)
本年度は、戸塚スポーツセンターの確保が4日分しか取れていない為、レディース・マスターズ大会については、中止の方向で検討中。
(バドミントン協会総会で日程・大会は決定する)
新議案4-2・・・審判技術向上(スコアシート記入が不慣れな人を対象)
審判のコールの仕方、スコアの記入等のダイジェスト版を各大会で不慣れな人に配布する。又、配布時に、審判部員が簡単な説明を行う。
新議案4-3・・・日本バドミントン協会公認3級審判員資格検定会について
2. 今後の活動方針(審判部への意見・要望等)
* 連絡用にPC及び、携帯のメールアドレスの登録をお願いします。(前年議決事項)

平成21年度 審判部活動メモ

平成22年4月18日 審判部

1. 区民大会(5大会)に審判を17人派遣

* 体育協会会長杯(5名:後藤、村上、森田、塩路、野上)、レディース・マスターズの部(3名:松永、佐々木、小林)、ミックス・ジュニアの部(3名:川嶋、下村、久保田)、団体の部(3名:長谷川、島本、久保田)、オープン部の部(3名:梅津、波多江、石森)

1) ジャッジペーパーのチェック・指導及び、一部(会長杯男子Aクラス決勝等)の主審、線審を行った。

① ジャッジペーパーの書き方が浸透していない点を下記に示す。

例 R(ライト)L(レフト)、S(サービス)R(レシーブ)及び、SとRの横の”O”記入、及び、勝者の名前に丸印抜けが多数いた。(どの大会も同様)

② 主審のコールがほとんど省略されていた。

③ 11ポイント及び、ゲーム間のインターバルが浸透していない。

例 11ポイントでの確認や両チームの選手が戻った時の対応が理解されていない。

2) 各大会の開会式で、線審のコール、ジャッジのPR及び、団体戦の試合前のコールをPRした。

又、各大会のプログラムに主審・線審の役割を掲載し、徹底を図った。

3) 質問事項、その他

各大会での質問等を下記に示す。

① サービスフォルトについて(ウエストの位置とシャフトの向き)

⇒ウエスト位置よりシャトル全体が下で、シャフトが下向きか確認する。手首が返らない事を確認する。

② サービス時、レシーブするパートナーの位置はどこでも良いか?

⇒レシーバーの位置は決まっているが、パートナーの位置は、サーバーの動作を邪魔しない位置であれば、どこでも良い。

③ サービス時、レシーバーが打ち返し時に転倒したのを見た相手チームが打つのをやめた。

この場合、主審は、レットをコールすべきか?

⇒インプレイの為、主審は、レットをコールしてはいけない。(プレーヤーは、主審のレット等のコールが有るまでやめない様に注意する。(隣のコートのシャトルが入ったときと一緒))

④ 障害者(車椅子)の人も3級審判資格が取れるか?

⇒県協会に確認したが、審判台の乗り降り等がある為、難しい。障害者団体の方に確認してもらう。

⑤ 団体戦で応援(監督)者がラリー中に”**を攻める”などのアドバイスが有り、線審から確認が有った。

⇒アドバイスをしているようであれば、主審に注意するように指導し、監督・応援者に注意をした。

⑥ 線審が選手に対して、”これくらいアウト”とアドバイスしていた。

⇒線審は、いかなるアドバイスしてはいけない為、注意を促した。

⑦ 団体戦3チームリーグで試合する順番の確認が有った。

⇒競技委員に試合順序を明確にするように伝え、次回大会より徹底した。

⑧ ケガ等による棄権時の時のスコアシートの書き方を指導した。

⑨ 打ったシャトルがポストに当たった瞬間(ネットを超えない)に相手がタッチネットした場合の処理について質問が有った。

⇒ネットの場合と同じで、シャトルが下向きに落ち始めか、ネットタッチのどちらが早いかで決まる。

⑩ 試合中に腹痛が起こった場合の対処の質問が有った。

⇒生理的現象のため、トイレや対処が認められる。

⑪ 女性が男性試合はシャトルが早い為、主審の交代要請が有った。(会長杯)

⇒線審が担当ラインをジャッジする為、経験を積むように指導した。

(心配の場合は、後ろに審判員つける)

4) ストップウォッチを購入し、各大会で使用した。

ストップウォッチの操作がわからないと、質問されるケースが数回あった。

⇒スタート・ストップとクリアのテプラを張り、操作がわかるようにする。

5) 意見・課題、対応策例

① 会長杯の男子Cクラスで審判の4人が主審が出来ないケースが有った。

* 高校生及び、Cクラス男子で、主審及び、スコア記入の不慣れな人がいた為、指導した。

⇒審判講習会の参加呼びかけ及び、審判部員のクラブ内の指導の推進。

(相互審判の為、主審は参加条件とするの意見も有ったが、当面は指導を行う方針で進める)

② 線審のジャッジをしない人、ジャッジの仕方が誤っている人が多く見受けられる。

⇒開会式の時に、”アウト”のコールとジャッジの仕方をPRした。又、プログラムにも記載した。

- ③主審が線審のジャッジを確認していない。主審と線審のアイコンタクトの徹底をしたほうがよい。
⇒開会式及び審判講習会でPRを行い、審判技術の向上に努める。
- ④ 審判部の役割分担の明確化
⇒大会当日、協会役員と審判員が集まり、挨拶・役割分担の説明を行う。又、終了後に大会での質問事項や意見等の収集を行うように要望改善をした。
 - ・ 基本的には、ジャッジペーパーのチェックがメインとなるが、空時間に主審や線審の指導に努める。(一部大会では、主審・線審の指導を行った)
 - ・ 役員、審判員の試合スケジュールを確認し、不在がない様に改善した。
- ⑤ 個人戦・団体戦のコールの仕方を知らない人が多い。
⇒団体戦の開会式で個人戦・団体戦のコールのPR及び、紙にコールを書き張り出した。又、審判講習会で説明した。
- ⑥ インターバル時間及び、コールの仕方の浸透が必要。
⇒講習会や開会式でのPRやプログラム記載して、理解を促進する。

2. 審判技術向上の啓発活動(審判講習会の実施)

- 1) 審判技術向上(スコアシートの記入やコールの仕方)を中心にラリーポイント制講習会を開催した。
- 2) 初級の人が多かった為、ルールの説明からゲームコントロール等を予定していたが、ルール等の説明に時間がかかり、ケーススタディを行う時間が少なかった。(資料配布のみ)
ex.線審及び、主審の担当ラインについて質問が有った。
⇒主審の担当は、サービスラインとセンターライン、線審の担当は、サイドラインとバックバウンダリーライン。
- 3) 当日は、34名+役員の方が参加した。
- 4) 初級者にもルール理解が出来、好評であった。又、区大会等でルール等の質問を受けるケースが増えた。
- 5) 課題 : 講義、実技の各2時間では、質問説明等で時間不足で有った。
⇒内容及び、時間配分を検討し、ポイントを絞る。

3. 県協会主催大会に審判員として参加

- 1) 7派遣大会(14日)の要請に対し、毎回1~4名の方が戸塚区から参加している。
- 2) 派遣審判の連絡事項
 - ①クツ紐がサービスラインにかかっている場合は、フットフォルトとする。(東京都の事例)
 - ②線審は、主審のゲーム開始のコール時に座っていて良い。(以前は、ラブオールで座る)
 - ③ラケット交換の為、コートサイドに勝手に出た場合は、注意する。
 - ④線審・サービスジャッジについての質問は、主審に行く。
 - ⑤インターバルは、60秒又は、120秒以内。(両者がOKであれば、短くて良い)
 - ⑥サービス位置の誤りは、“C”と記入する。(余り浸透していない)
 - ⑦主審は、レフリーコールの時も、審判台からおりない事。必要に応じ、線審にレフリーを呼びに行かせる。
 - ⑧試合前の練習試打は無しで、試合を開始する。
 - ⑨相互審判時の線審は、試合中のウチワ、足組み、話しながらは注意する。
 - ⑩ダブルスの勝者サインは、2名分のサインをもらう。又、読める字で書いてもらう。
 - ⑪試合が終了のコール前に、選手が練習に入ってきたら、コールが完了するまで外に出す。(マナー改善)
 - ⑫線審の位置が変更になる方向。(主審左手前と右奥)
- 3) 県バドミントン協会 審判員委員会のHP <http://www.h3.dion.ne.jp/~kba/shinpan/index.htm>
派遣審判員状況確認: 携帯URL <http://www.h3.dion.ne.jp/~kba/shinpan/k/>
- 4) 県派遣大会(22年度)予定 (上記、HPにて確認願います)
本年度は、関東学生リーグの主管が、神奈川県バドミントン協会になりました。この為、派遣審判依頼が増えます。(早急の募集は、4/24,5/1~3の関東学生リーグ、5/4の全日本社会人県予選が有ります)

4. その他

- 1) 小川 比早子(ドルフィン)が審判部に新入会した。審判資格取得者がおりましたら、紹介をお願いします。
- 2) 日本リーグ横須賀大会(11/8)の線審に山本が参加した。
今年も日本リーグが、横浜文化体育館で12/18に開催される。
- 3) 審判資格(3級)取得研修は、8~15人で会場を準備すれば、戸塚で行うことは可能。

戸塚区バドミントン協会審判員 年間予定表

○ : 審判員

	氏名	平成22年度				平成21年度	備考
		体育協会 会長杯	ミックス・ ジュニア大会	団体戦 大会	オープン 大会	派遣大会	
1	石森 勇					オープン	注2
2	歌川 寿子						県バド協役員
3	梅津 順子					オープン	
4	斧 政男						区バド協役員
5	川村 千鶴子						区バド協役員
6	塩路 雅子					会長杯	注2
7	清水 三郎			○			
8	中田 玲子				○		
9	長谷川 隆		○			団体戦	
10	松永 恵美子	○				レディース・マスターズ*	
11	森田 多恵子	○					
12	山田 八郎						区バド協役員
13	渡部 キミヨ						市バド協役員
14	川嶋 裕子					ミックス	
15	工藤 政実						区バド協役員
16	波多江 祐子					オープン	
17	後藤 元					会長杯	注2
18	矢村 正義						区バド協役員、注2
19	村上 隆義	○				会長杯	
20	佐藤 貞雄						区バド協役員
21	山本 雅己						審判部部長、注2
22	三好 共子			○			
23	梶原 孝久						注2
24	下村 章吾	○				ミックス	
25	佐々木 順子					レディース・マスターズ*	
26	井上 真由美		○				
27	森田 実				○	会長杯	
28	中町 扶美代						審判部
29	浜中 明子	○				団体戦	
30	久保田 忠晴	○				ミックス	
31	野上 宏子					会長杯	
32	星野 節子				○		
33	石山 葉子		○				
34	小林よし江					レディース・マスターズ*	
35	小川 比早子			○			
日時(案)	5月23日(日)	9月11日(土) 予定	11月13日(土) 予定	2月19日(土) 予定	集合時間 : 8時30分		

注1. 審判員当日の都合が悪い場合は、事前に審判員同士で交代して下さい。又、交代の旨を山本か中町に連絡願います。

注2. 2年連続又は、21年度の県派遣審判に2回以上参加された方は、22年度の審判員年間予定表から外す方向で調整してます。

公認審判員資格登録更新申請書

【この用紙は平成12年4月1日以降適用されます】

登録申請級	1級	2級	3級
今年度会員登録番号	神奈川県バドミントン協会・会員番号 号		
氏名	フリガナ		
住所	〒 - TEL ()		
生年月日	昭和・平成 年 月 日生		
現在の資格	平成 年度 級	号取得	
審判経験大会名	平成 年度	大会	
	平成 年度	大会	
	平成 年度	大会	
	平成 年度	大会	
	平成 年度	大会	
	平成 年度	大会	
	平成 年度	大会	

以上申請致します

平成 年 月 日

財団法人 日本バドミントン協会会長 殿

神奈川県バドミントン協会

会長 印

本人 印

(この下は記入しないで下さい)

頭記者を公認審判員第 級 号に認定します。

平成 年 月 日

財団法人 日本バドミントン協会会長